

団体名 石川災害医療研修会 愛称：IDMeW（アイディミュウ）

部門 スタート部門

テーマ 誰もが安心して共に暮らせる地域社会の実現

企画タイトル

防災BOXを作ってみよう！
～何を入れる？「私の防災」を考える～



私たちに
防災の種を
蒔かせてください



令和7年度協働のまちづくりチャレンジ事業 審査会資料

1. 団体について

- 団体名 石川災害医療研修会 愛称 **IDMeW** (アイティミュウ)
- メンバー 5人 (今後慎重に増員予定)
 1. 地域医療の専門家 医師
 2. 緩和ケアの専門家 看護師
 3. 災害薬事に取り組む薬剤師
 4. 能登半島地震の1.5次避難所で被災者と施設のマッチングを行なったケアマネージャー
 5. 新潟大学災害医療ロジスティクス専門家コースで学ぶ事務職

地域防災



災害医療



2. 現状の課題・背景

・私たちが考える地域課題

課題1 災害時には地域の繋がりが重要だが、現代では相互のコミュニケーションが難しい

課題2 地域住民の中の潜在的な避難時要支援者を把握する必要がある

・課題1を解決するため私たちが取り組むこと



「私の防災」を考えて
防災BOXを作る



みんなでワイワイ
楽しく発表し合う



3. 企画の概要

・ねらい

災害を自分ごととして想像してもらい
発表の場を通してお互いを知る

・1回目実施方法

予定日時 2025年8月

予定場所 西泉地区の公民館またはR-7フリースペース

実施形態 公民館またはR-7でBOXを販売

進行役 IDMeW会員と過去の研修会参加者からの希望者

開催予定 2回目:12月~1月頃、3回目:3月頃

・事業効果

参加者:災害について家族や友人と話し合うきっかけが生まれる

地域住民間の交流のきっかけが生まれる

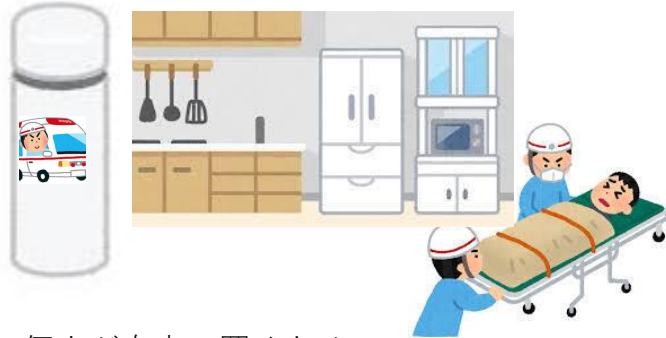
地域:金沢市 地区防災計画策定マニュアルに沿った地域の防災計画作りに貢献できる

IDMeW: 今後へ向けたイベント運営のノウハウ蓄積

地域住民との顔の見える関係構築



4. 今後の展望について



個人が自宅に置くための
緊急カプセル作りのお手伝い



どのように関わるのか・・・
個人情報との付き合い方が今後の課題

わたしたちの国の防災計画は、災害基本法に基づき、国や都道府県、区市町村などそれぞれのレベルに応じた防災計画が立てられ、それぞれの計画に沿って防災活動を実施しています。

東日本大震災では、地震や津波によって行政機能が麻痺し、避難行動や救助の場面における自助・共助の重要性が再認識されました。さらに、少子高齢化社会等の社会問題も踏まえ、地域コミュニティの強化が必要とされています。

そこで、平成25年6月に災害対策基本法が改正され、地域における防災力の向上を目的とした、区市町村の一定地区内の居住者及び事業者（地区居住者等）による自発的な防災活動に関する「地区防災計画制度」が新たに創設されました。

地区防災計画は、地域住民が自ら作り上げる計画です。防災計画は地域の特性に即した計画の作成が必要となります。計画作成の作業に多くの住民を取り組む事により、地域のコミュニティの維持・活性化にもつながるものと考えています。

「金沢市ホームページ 危機管理課 地区防災計画を作成しよう」より抜粋

